



アスファルトが流出し通行不能に(赤城原)



流出したコンニャク畑(赤城原)

豪雨により村内各地に大きな被害

群馬県内では6月21日夜から22日未明にかけて猛烈な雨となり、村内各地域の畑や農作物、道路などに大きな被害が発

生しました。村周辺では21日から22日までの総雨量が綾戸で17ミリ、道の駅で91ミリを観測。

この豪雨により、赤城原地区では農道のアスファルトが流され通行できなくなったほか、永井地区では急傾斜となつている村道が崩落し、通行に支障が出ています。また、各地でコンニャク芋の流出やレタスに傷がつくなど農作物への影響や、流出した土砂で農業用倉庫が浸水するなどの被害も出ています。

役場新庁舎は「現庁舎の敷地」に

昭和45年に施工され、築49年を経過する村役場庁舎について、4月26日に開催された議会全員協議会で、役場新庁舎の建設場所を「現在の役場庁舎が建っている敷地」とすることが決定され、5月31日開催の村新庁舎建設委員会(堤盛吉委員長)において報告されました。

これは、同委員会で昨年10月、用地取得などでの支出を抑えることができ、交通の便や近隣に金融機関やスーパーなどがある立地上の利便性を考え、「現在の敷

地」との結論に達したことを踏まえ、議会全員協議会で協議されたもの。

役場庁舎についてはこれまで、平成22年度の耐震診断で「耐震性能が著しく低い」との結果が出たことを受け、昨年3月、村庁舎耐震化検討委員会(小林勝典委員長)から「役場庁舎を新築」とする答申が出され、村や議会もその内容を尊重し、新築する方向で動き出しています。今後は、村民の皆さまが利用しやすい庁舎の整備を目指し取り組んで参ります。



新庁舎の建設が決まった役場・現庁舎

林善茂さんに

県総合表彰

令和元年度群馬県総合表彰の表彰式が5月16日、前橋市の群馬会館ホールで行われ、林善茂さん(生越)が受賞されました。

この表彰は、各分野で多年にわたり献身的に地域へ貢献された功労者に贈られるもの。今年度は13人と3団体が受賞しました。林さんはこんにやく栽培を柱とし、多方面で地域の農業振興に貢献されました。林さんは「先輩方や仲間がいるから続けてこられました。これからも健康に気をつけてがんばっていきたい」と話していました。



表彰を受けた林さん

横浜市内でコンニャク芋の植付け

村と友好交流協定を結ぶ横浜市内で6月19日、村の特産品であるコンニャク芋の植付けが行われました。これは同市と



横浜公園の花壇で行われた植付け



新鶴見小学校でも植付け

の交流事業の一環として市民に昭和村を知ってもらおうと毎年行われているもので、今年で6回目となります。

この日は、両市村の職員ら10名が市内の横浜公園内の花壇に約300個のコンニャク芋を植付けたほか、市立新鶴見小学校にも職員が訪問。4年生148人を対象に昭和村や特産品のコンニャクなどを紹介し、校内の畑にコンニャク芋の植付けを行いました。子どもたちは熱心に説明に聞き入り、初めて目にするコンニャク芋の植付けを楽しんでいました。

角田信明さんに感謝状

村行政相談委員の角田信明さん(森下上)に5月21日、総務省群馬行政監視行政相談センター所長より感謝状が贈られました。

これは、角田さんが村民からの行政に対する苦情や意見・要望などを受け、その解決のために長年にわたる地道に活動してこられたことが認められたもの。

角田さんは「感謝状をいただいたのは、先輩委員など関係各位のご指導・ご支援があつてこそ。この喜びを胸に、これからも相談委員として相談業務に励みながら、行政相談制度の発展に尽くしたい」と思いを語りました。

武井君、加藤さん親子が「よい歯」受賞

利根沼田地区よい歯のコンクールが6月7日、沼田市中央公民館で開かれ、昭和中学校の武井幸栄君(3年)が「よい歯の子の部」で最高位の優秀賞を受賞しました。コンクールでは一人ひとりの歯の審査が行われ、武井君は日頃の歯みがき習慣を大切にし、健康な歯を維持していることが高く評価されました。

また、5月31日には利根沼田保健福祉事務所で、利根沼田地区親と子のよい歯のコンクールが開催され、村代表として出席した加藤美里さん、颯真くん親子(中



優秀賞に輝いた武井君

内出)が優秀賞を受賞しました。コンクールでは、親子それぞれの歯の健康状態がチェックされました。



優秀賞を受賞した加藤さん親子



感謝状を贈られた角田さん